望洋荘便り

第４１号
平成19年
４月発行

在宅における医療・介護の提供とは

社会福祉法人りんさく福祉会
理事長　須田　滉

地域で寝たきりの方あるいは通院できない患者様に対して、訪問診療することを「在宅医療」として多くの方々が認識しています。『地域の住民が住み慣れた所で安心して暮していける様に支援する為の一環として』、この在宅医療をかかりつけ医は大きな柱として認識する必要があります。

今後の高齢者の医療と介護の協働する地域ケア体制の整備において、従来からの「病院・施設における療養」とともに「在宅療養」も医療を通じて支えていくことが望まれます。その実現には、地域をひとつの病棟と捉える視点など、要となる医師の意識改革と支援が医療サイドの重要な責務と認識されています。高齢化のピークである二〇二五年に向けた高齢者の医療と介護について、日本医師会は、以下の三つの基本的な考え方と七つの提言を医療側の方々に打ち上げました。

―三つの基本的な考え方―

一、尊厳と安心を創造する医療
二、暮らしを支援する医療
三、地域の中で健やかな老いを支える医療

―七つの提言―

一、高齢者の尊厳の具現化に取り組もう。
二、病状に応じた適切な医療提供あるいは橋渡しをも担い利用者の安心を創造しよう。
三、高齢者の医療・介護のサービス提供によって生活機能の維持・改善に努めよう。
四、多職種連携によるケアマネジメントに参加しよう。
五、住まい・居宅（多様な施設）と連携しよう。
六、壮年期・高齢期にわたっての健康管理・予防に係わっていこう。
七、高齢者が安心して暮らす地域づくり、地域ケア体制整備に努めよう。

日本医師会は右記の三つの考え方、七つの提言が広く社会に受け入れられ、実現することを目指し、また地域における「在宅で死を迎える事」の追求と支援をも行いたい。もちろん、死も看取りは多様な選択肢があり、たとえ医療提供者であっても他者強制できるものではありません。高齢者が求めているさまざまな医療と介護、社会サービスを利用者様本位に地域で提供できるよう取り組む先には、家族や友人・知人に囲まれながら、生活の場における安らかな眠りへの看取りがあると考えたい。と提唱しました。

在宅の延長上にある、この「望洋荘」にも多くの方々が在宅医療を必要としています。嘱託医、須田医院と病診連携して頂いている近くの病院、診療所（神経内科、眼科、皮膚科、歯科、・・・）の先生方に私たちの施設のかかりつけ医としてご協力頂いています。入所者様にとって本当にありがたい事と感謝しています。永住の場となっている「望洋荘」入所者様の住みやすい環境作りを職員は率先して、心身の介護と話し合いのできる場をつくってください。その姿を見ながら多くの先生方がかかりつけ医としての在宅医療に賛同し私たちを支援して頂ける事を念じています。

「お花見」四月四日～七日

今年もお花見の季節を迎えました。桜の開花情報を収集しながら行事予定日より二日遅れの四月四日午前十時より、毎日ユニット毎にお花見に出掛けました。

下川公園の桜も丁度満開で見ごろを迎えていました。平日にも関わらず多くの花見客が花見を楽しまれていました。行き交う人皆さんが、「こんにちわ」と挨拶されたり、話し掛けて頂いたりと入居者様もご機嫌でした。

午前の部は予定当初「大畑公園」に行く予定でしたが、桜の咲き具合が「下川公園」の方が良いとの事で変更となりました。午前の部はお弁当（お結び）とおやつを持って出掛け、公園の桜の下でみんなで楽しく昼食をとりました。普段では味わえない開放感に食欲も進み二個のお結びをぺろりと平らげる姿も多く見られました。また花見と言えば何と言ってもお酒ですね！ワンカップ片手にご満足の入居者様もいらっしゃいました。

多少肌寒い時もありましたが、雨もなく無事予定通り実施する事が出来ました。入居者様にもすごく喜んで頂く事が出来ました。

須田医院さんの前の公園も桜が丁度見ごろを迎えていました。須田医院さんより差入れを頂いたり、職員の皆様にお手伝い頂いたり、おかげさまで楽しいお花見をする事が出来ました。ありがとうございました。

桜の木の下で昼食会、お結びを頬張る姿を激写しました。本当に美味しそうに召し上がっています。日本酒の味も格別だった様です。ちゃかり施設の職員もご相伴(お結びの方を)させて戴きました。

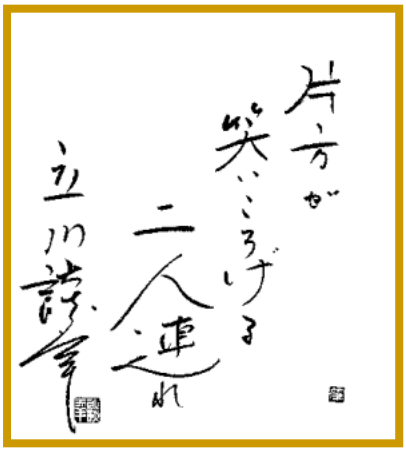
「いわき寄席」出演者の色紙集から⑲

「いわき寄席」出演者の直筆の色紙を紹介致します。

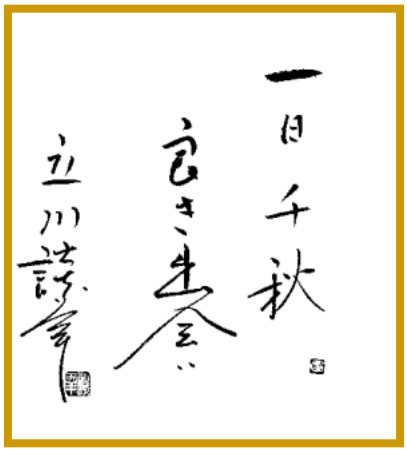
立川　談幸師匠の作品です。

○第九七回記念いわき寄席　平成十八年四月二十日

（演目）短命、文七元結

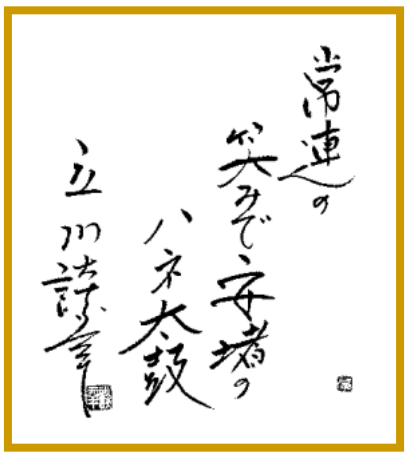


立川　談幸　師匠
（第 97回いわき寄席 H18.4.20）
片方が
笑いころげる
二人連れ

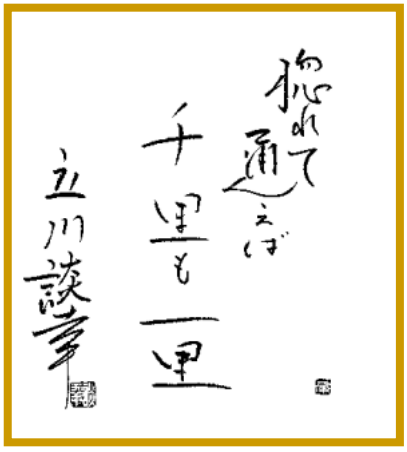


立川　談幸　師匠
（第 97回いわき寄席 H18.4.20）
一日千秋
良き出会い

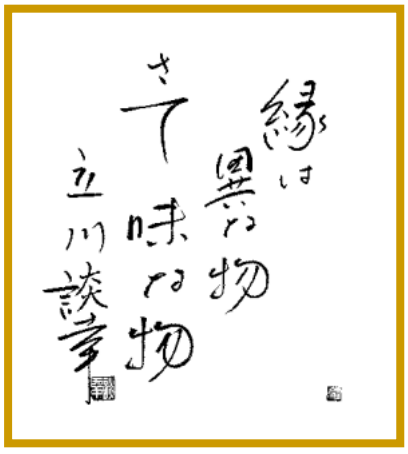
立川　談幸　師匠
（第 97回いわき寄席 H18.4.20）
客席の
ゲラが助ける
勉強会



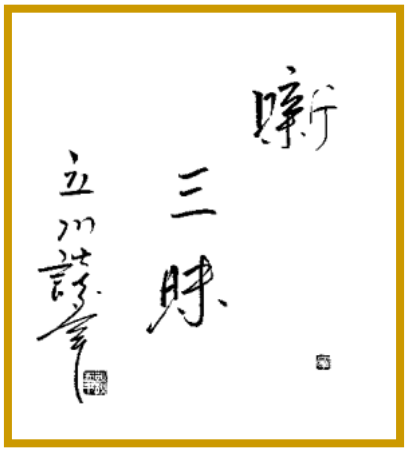
立川　談幸　師匠
（第 97回いわき寄席 H18.4.20）
常連の
笑みで安堵の
ハネ太鼓



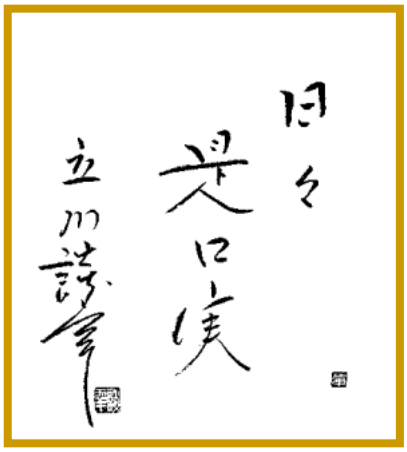
立川　談幸　師匠
（第 97回いわき寄席 H18.4.20）
惚れて
通えば
千里も一里



立川　談幸　師匠
（第 97回いわき寄席 H18.4.20）
縁は
異な物
さて　味な物



立川　談幸　師匠
（第 97回いわき寄席 H18.4.20）
噺　三昧



立川　談幸　師匠
（第 97回いわき寄席 H18.4.20）
日々　是口実

「家族説明会」の開催

四月二一日（土）午前十時三〇分より、平成十九年度の望洋荘事業方針等をご家族様に知って頂く為に説明会を開催致しました。当施設のケアマネジャー・生活相談員より「現状における個別ケアの状況」や「今年度の施設行事計画」・「今年度各ユニットの行事計画」の説明があり、事務からは「入居者様の貴重品等の管理」の説明を致しました。望洋荘として今年度「個別ケアの充実」を目標に立て入居者様のケアを行なって行く事をご家族様にもご理解頂けたと思います。途中「入居者様の望洋荘での生活」を上映致しました。出席頂いた多くのご家族様より感動されたというお言葉を頂きました。

また、説明会の中で「家族会」を作る話題が出て、多くのご家族様より賛同を頂き会の結成に向けて、お世話役を引受けて下さるご家族様の選出があり、現在「望洋荘家族会」結成に向け御尽力頂いております。

五月の行事予定

五月四日（金）午前十時～午前十一時
豊間地区子供会「子供みこし」来荘

五月十三日（日）午前の部十時～
午後の部三時三〇分～
全ユニット「母の日を祝う会」

五月二三日（水）午前十時三〇分～
豊間ユニット「フラワーセンター」

五月二五日（木）午前十時～午前十一時
正面玄関ホール・塩屋岬広場
「キャプテン船水」ハーモニカ演奏

五月二五日（金）午後二時三〇分～
永崎ユニット「ドライブ」塩屋崎灯台

五月三〇日（水）午前九時四五分～
勿来ユニット「買い物とドライブ」エブリア

【五月のお誕生会】

五月一日（火）午後三時～
薄磯　山際　イク様（一〇二歳）誕生会

五月五日（土）午前十時～
豊間　赤間　直子様（七七歳）誕生会

五月九日（水）午前十時～
薄磯　吉田　貞雄様（七六歳）誕生会

五月一〇日（木）午前十時～
永崎　小林　ヤエ様（七七歳）誕生会

五月二一日（月）午後二時三〇分～
薄磯　猪狩　芳枝様（八〇歳）誕生会

「お誕生会」についてのご案内

今年度より「お誕生会」の開催方法に変更があります。従来その月にお誕生日を迎える方全員を対象に月ごとに開催しておりましたが、今年度より入居者様の誕生日の日に個々に行なう事になりました。四月も五名の入居者様が誕生日を迎えられ、それぞれのユニットで個別に「お誕生会」を開催致しました。

ご家族の方々に置かれましても、お誕生会には是非ご来荘頂き、一緒にお誕生日をお祝いして頂ければと思います。皆様のご参加をスタッフ一同お待ちしております。

今月の言葉その　（倫理研究所編標語集から）

忘れまい、「礼の心」を

折り目をつけた着物が美しいように人としてのけじめや区切りをきちんとつけた生活は美しい。水臭いと言うなかれ。堅苦しいと言うなかれ。その心遣いこそ今求められている。

編集後記

『望　洋　荘』便り
平成十九年四月三十日発行
発行所　いわき市
平豊間字合磯三十九番地
社会福祉法人　りんさく福祉会
介護老人福祉施設　望洋荘
電　話　（０２４６）５５－７３７３
ＦＡＸ　（０２４６）５５－７２５５